

脚本・演出・解説 伊藤玄二郎

# ビルマの豎琴

「朗読と音楽とのコラボレーション 竹山道雄『ビルマの豎琴』を聴く」

曲： 埴生の宿 (Home, Sweet Home)、上げば尊し、庭の千草、おぼろ月夜、  
荒城の月、シューベルトのアヴェ・マリア、早春賦、アダージョ ほか

< 出演 >



田中あつ子

朗読と歌・リラ演奏



高野久美子

歌



倉本洋子

ピアノ



東川中学校吹奏楽部

合唱

2024

3月24日 日 15:00 ~ (14:30 開場)

東川町農村環境改善センター 多目的ホール  
北海道上川郡東川町東町 1 丁目 15 番 3 号

お問い合わせ：TEL 0166 82 2111  
(東川町教育委員会・生涯学習推進課)

入場無料

主催 東川町教育委員会 協力 かまくら春秋社

「ビルマの豎琴」は鎌倉に住んでいた竹山道雄(1903-1984)が児童向けに執筆した1947年発表の作品です。終戦前後のビルマ(現在のミャンマー)を舞台に、「音楽(芸術)は国境も敵味方も越えて、人と人をつなぎ、和解に導く」ことを描いています。一高の教員をしていた竹山は戦地へ送り出した教え子の帰りを待ちわび横須賀の港に通ったといえます。監督市川崑の手により二度にわたり映画化されるなど、日本人に親しまれています。

この作品の中で大切な役割を果たしているのは「埴生の宿」と「庭の千草」です。これらの曲は、私たちが何の疑いもなく日本の歌であると思ひこんでいますが、イギリスの民謡です。人心の荒廃が叫ばれ、戦火の絶えない21世紀の世界にあって、音楽(芸術)が世界をひとつに結び、平和をもたらすうえで大きな役割を果たす可能性があることを示唆しています。

---

※ 平成29年(2016年)5月13日(土)に実施した内容の、本町2回目の再演です。

---



**田中あつ子** TANAKA Atsuko 朗読と歌、リラ演奏

東京音楽大学声楽科卒業。在学中にNHK教育テレビ「ふえはうたう」でうたのおねえさんとしてデビュー。富田勲プロデューズ: サウンド・クラウド・オペラ「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル役を主演。テレビ、ラジオ、舞台をはじめ、CM、また司会者として数多く出演。



**高野久美子** TAKANO Kumiko 歌

東京藝術大学声楽科卒業、久城理絵子氏に師事。1987年、東京オペラプロデューズ「蝶々夫人」のタイトルロールでオペラデビュー、「オテロ」「椿姫」「ラ・ボエーム」「トスカ」等に主演。2001年5月、チェコのプラハの春音楽祭オープニングイベントオペラ「蝶々夫人」をチェコ国立歌劇場にてタイトルロールを演じ好評を博す。またミュージカル、リサイタルや定期コンサート、ディナーショーなど、オペラからポピュラーまで幅広く歌いこなす。



**倉本洋子** KURAMOTO Youko ピアノ

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。東京文化会館推薦音楽会“ピアノのタペ”、国立音楽大学卒業演奏会、プロムナードコンサートに出演。“3つのピアノ・コンチェルトのタペ”にて東京交響楽団と協演。数多くの声楽家の伴奏にあたっている。またシャンソンをはじめ、いろいろなジャンルのアレンジ・演奏も手掛け、自ら朗読しながらピアノソロによるコンサートも行っている。